

# かねさわ

金沢学区コミュニティ推進会

第165号

令和8年1月1日

企画・編集:広報部 発行責任者:高村 哲夫  
事務局:Tel (36) 3985 Fax (36) 2677  
メールアドレス:c-kanesawa@net1.jway.ne.jp  
ホームページ:<https://kanesawa.hitachi-community.jp/>



住民文化祭「多目的ホール展示室」

## 令和8年新春を迎えて 令和8年をコミュニティ活動の新たな出発年として

金沢学区コミュニティ推進会会長 高村 哲夫



金沢学区の皆さん新年あけましておめでとうございます。令和8年をあらたな気持ちで迎えられたことと思います。令和7年を振り返ってみるとコミュニティ活動を取り巻く環境は大きく変化しております。学区人口は7,000人を切り、令和7年10月1日付で3,484世帯6,958人になりました。高齢化が進み、65歳以上の高齢化率は45%となり、支部によっては55%を超える状況になっております。こうした中で住民文化祭や地域モビリティ事業、地域福祉事業に全力で活動してまいりましたが、コミュニティ活動の幅が狭くなりつつありました。

令和8年も一段と高齢化が進んでまいりますが、住民の皆さんの意見要望を活動の中に反映して、住みよいまちづくりを進めてまいります。今後も高齢者と子どもたち向けの活動を積極的に推進してまいります。具体的には住民芸能祭、住民文化祭、グラウンドゴルフ大会、健康づくり活動を促し、積極的に進めてまいります。学校活動では学校運営協議会および地域学校

協働活動の中で議論して、少子化が進む中での学校活動を子どもたちが、思い出に残る行事を積極的に進めてまいります。さて、従来、交流センターは夏季3日、年末年始6日間の休館のみで運営してきましたが、令和8年4月から毎週月曜日が交流センターの休館日となります。各種活動の時間が制限されますが、ご協力をよろしくお願いいたします。令和8年度もコミュニティ活動に積極的にご参加いただけるように、役員・幹事・協力員一同精力的に推進してまいります。

令和8年も皆様とご家族がご健康にすごされることを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 令和8年は「午」の年

午年は十二支の七番目の干支で、「丙午(ひのえうま)」の年です。「午」は馬を意味し、スピード感や行動力、自由を象徴します。また「丙」は陽の火を表し、情熱や創造性を象徴するため、丙午は「情熱を持って行動することで、大きな成果を得られる年」とも言われています。



## コミュニティ推進協議会50周年記念式典開催される!

去る11月1日(土)に日立市コミュニティ推進協議会50周年記念式典が日立市シビックセンター音楽ホールにおいて開催され、日立市内のコミュニティ推進会23学区の住民約600人が参加しました。式典はコミュニティ推進協議会の鈴木東男会長のごあいさつに始まり、小川日立市長、日立市議会の吉田議長他の来賓祝辞がありました。

続いて、コミュニティ活動功労者表彰があり、金沢学区からは第9代会長の鴨志田勝男様、第10代会長

の泉聰二様、永年功労者として岡山昭様、加藤末吉様、安島清松様が表彰されました。

続いてコミュニティ活動事例として当学区の高村会長が「金沢学区地域モビリティを利用した地域活性化」と題して発表を行いました。

その後、気象予報士の依田司さんの「異常気象と向き合う~身近でできる災害対策~」と題した記念講演があり、金沢学区出席の皆さんも真剣に聴き、盛況のうちに終了しました。



鴨志田勝雄様 泉聰二様 高村会長と岡山様・安島様・加藤様

## 地域学校協働活動

地域の子どもたちの成長を地域で支援する活動として、今年度はこれまで台原中の除草作業、金沢小5、6年生の家庭科のお手伝いを行いました。参加された方からは子どもたちとふれあえて楽しかったとの声を、学校からは感謝の言葉をいただいています。

今後も学校からのお手伝いの依頼に応えられるよう、地域の皆様でご協力していただける方、お手伝いボランティアの「地域人材リスト」への登録をよろしくお願いします。



## 令和8年度から週1休館

令和8年4月より、市内の各交流センターに、週1回の休館日が設けられることになりました。金沢交流センターは毎週月曜日が休館日になります。金沢交流センター館内、グラウンド、および金沢学区広場の月曜日のご利用はできなくなります。ご利用いただいている地域の皆様、月曜日を活動日にされている登録団体の方々にはご不便をおかけいたしますが、ご理解の程、よろしくお願ひいたします。

なお、他学区交流センターの休館日につきましては、日立市および各交流センターのホームページ、広報ひたち10月号にてご確認ください。

## 令和8年度 各支部役員選出

令和7年度も残り少なくなってきましたが、令和8年度に向けて各支部役員の選出をお願いいたします。高齢化が進み、役員のなり手がない等の問題がありますが、各支部の引継ぎ会や総会の中で活動できる方を優先して選出をお願いします。過去に経験していない災害等が叫ばれており、その対応が重要になっています。自主地域防災と福祉関係の支部役員については率先して活動できる方の選出が必須です。詳細は令和7年11月29日(土)の役員会で各支部にお願いしておりますので、よろしくお願ひいたします。

## 令和7年度の「生活安全のつどい」を開催しました！

10月19日(日)秋晴れの中、令和7年度「生活安全のつどい」が金沢小学校で開催されました。参加人数は、149名でした。

### 今回の被害想定

「午前8時40分に茨城県沖を震源とする震度6弱の地震が発生し、電気・水道・ガス等のライフラインが遮断した。また、震源が浅かったため、津波に関する情報が発出された。」との想定でした。

### 避難訓練

8時50分の戸別防災行政無線の放送により、避難訓練を開始しました。今回は自家用車を利用しての避難を可(金沢団地に居住の方は除く)とし、金沢小学校体育館に7支部ごとに集合しました。

### 報告訓練

各支部長は高村本部長に、避難人数・被害箇所・災害時要援護者の確認等を報告しました。高村本部長は、日立市防災対策課 黒澤様に総数を報告しました。

### 開会式・防災訓練・防災用品展示見学

開会式では、高村本部長、金沢小学校教頭 小澤様、日立市議会議員 石川様にごあいさつをいただきました。防災訓練では、「間仕切りテントの設営訓練」「段ボールベッドの設営訓練」「防災用品の展示見学」の3つのブースが設けられました。各ブースとも学区内の講師の丁寧な助言を受けながら、熱心に訓練・体験に取り組むことができました。

### 防災に関する講演

「原子力災害広域避難計画について」の演題で、昨年度まで原子力災害広域避難計画の策定に携わっていた日立市女性若者支援課の飛田様からご講演をいただきました。

### 閉会式

閉会式では、金沢団地支部 荒井さんと旭ヶ丘団地支部 吉田さんが訓練の感想を発表しました。

最後に日立市防災対策課 黒澤様から講評をいただき、終了しました。

#### <感想について>

- ①間仕切りテントや段ボールベッドなど実際に体験できたことは良かった。
- ②防災用品の取り扱い説明は、分かりやすかった。
- ③原子力災害広域避難計画の講演は、とても分かりやすかった。
- ④学校とより連携し、子どもたちの参加をはたらきかける必要がある。等の感想が寄せられました。

(生活安全部)



## 日立市原子力災害広域避難訓練

10月26日(日)、日立市原子力災害避難訓練が実施されました。当初、午前中は住民広報訓練と屋内退避訓練、午後から金沢小学校へ集合した後に高萩中学校まで市のバスとレンタカー等での避難訓練を行う予定でしたが、荒天のため午後からの訓練は中止となりました。

これに先立ち、10月11日(土)に避難訓練参加者対象の住民説明会が行われました。各支部代表を含めたおよそ30名の方が、原子力災害の基礎知識、防災ワークショップ、訓練の流れ、質疑応答など、約1時間半の説明に真剣に耳を傾けられました。また、同時に行われた茨城県による双方向情報システムの実証実験にも8名の方が参加されました。

さらに11月27日(土)には、金沢学区の「避難中継所」である福島県郡山市の郡山カルチャーパークの視察に、本部役員を中心とした8名が参加しました。郡山カルチャーパークには、2,000台分の駐車場と690人が収容できるアリーナがあり、ここで避難者は「避難所」の指定を受け、移動することになります。視察に参加した方からは、実際に避難中継所までの移動や施設を見学することで、原子力災害と避難方法についてイメージしやすくなったという声が聞かれました。

今回の日立市原子力災害避難訓練は、「平時より地域の避難計画を把握」し、「避難訓練の際には積極的に参加する」という基本の重要性を、地域の方々にも再確認していただける良い機会になったと思います。



## 第2回 ひたちシーサイドマラソン 開催！

秋晴れの11月16日(日)、日立市主催の第2回ひたちシーサイドマラソンが開催されました。金沢コミ推会では、体育振興会10名を含む24名が、大みかから大沼小までのBRTの路線で走路員としてボランティアに参加しました。ランナーや沿道で応援する方々の安全を見守りつつ、一緒に応援するなど楽しく活動することができました。金沢学区には走路コースが設定されていませんが、興味のある方はボランティアや応援に参加してみてはいかがでしょうか。



## 第23回(コミ推)グラウンドゴルフ大会 開催！

10月25日(土)、金沢小学校グラウンドで、第23回(コミ推)グラウンドゴルフ大会を開催しました。

今回は、青少年育成・レク部での活動になり、体育振興会・高齢者クラブ連合会が主導の大会開催となりました。スタッフを含み65名の参加者で、16ホールで競技を行いました。

当日は、雨が降ったり止んだりのあいにくの天候でしたがプレーの進行を速めていただきながら無事に競技を終了することができました。

最後に閉会式を行い成績発表と上位成績者への賞品授与を行って解散しました。(青少年育成・レク部)



地域ボランティアへの積極的な参加をお願いします

## 「第43回住民文化祭」を盛大に開催しました！

第43回住民文化祭が11月8日(土)～9日(日)金沢交流センターにおいて開催されました。

今回は、幼児や小中学生をはじめ若い住民の皆さんとの楽しくなごやかな交流の機会を増やすことを念頭に準備を進めてきました。従来の「チャレンジコーナー」、「駄菓子屋コーナー」に加えて「バルーンアートコーナー」を新設し、これらのコーナーに気軽に参加できるよう、幼稚園や小中学校のご協力のもと「体験無料券」を事前配布させていただきました。さらに、両日ともご来場の皆様に抽選券を引いていただいて、当選者の方には、中里地区産のリンゴなどを賞品としてお渡ししました。

開催初日は晴天に恵まれ、園児、小中学生、一般の個人・団体の皆さんから出展された力作を二日間にわたり公開しました。翌9日は軒下舞台で3団体の踊りや楽器演奏が行われました。さらにグラウンドでは「チャレンジコーナー」や「駄菓子屋コーナー」でも交流の輪が広がり、そしてキッチンカーでのクレープ・お弁当やカレーライスの販売が文化祭のにぎわい

に色を添え、学童の皆さんや多くの若いご家族連れで楽しむ姿が見られました。

お陰様を持ちまして両日で延べ639名のご来場をいただき、昨年を上回ることができましたことを感謝申し上げます。

今後とも「ご来場者増加に向けた継続的な工夫」を検討してまいりますので、皆さんからご意見ご要望などを頂きたいと存じます。

開催に向けてご協力、並びにたくさんのご寄付を賜りましたことを心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(文化部)



日頃より地域の皆様の各イベントへのご参加・ご協力ありがとうございます

## 「スターウォッキング」開催しました！

11月1日(土)、金沢交流センターにて「スターウォッキング」を開催しました。心配していた天候は、午後から青空になり、開催時間には月も出て観察できる夜空になりました。17時からシビックセンターの川崎科学館長から観察する前に「星座」のお話を聴いて観察することになりました。星座観察の説明終了後グラウンドに全員が集まり「星座観察」を行いました。

今回はシビックセンター・ボランティア4名の協力により大型天体望遠鏡等4台を使って「土星」「月」「海洋星」、2025年1月に発見された彗星【レモン彗星】を観察することができました。子どもたちと一緒に参加された保護者も発見された【レモン彗星】等観察でき感激していました。

今回は、小学生18名、保護者16名、スタッフ等関係者14名、合計48名の参加者でした。今回参加した児童は初めて見た彗星に大変喜んでいました。今回で6回目となる「スターウォッキング」が前回に続き天候に恵まれて観察できました。(青少年育成・レク部)



## 金沢小3年生との「ふれあい交流会」開催しました！

11月14日(金)、金沢小学校の体育館にて、ボランティアふれあい活動部のメンバーと金沢小3年生との交流会を行いました。

第1部「遊びの会」では、6つのグループに分かれて、昔ながらの遊びを通して子どもたちと交流しました。『ベーゴマ・コマ回し』『ケン玉』『羽根つき』『ブンブンゴマ回しと紙鉄砲作り』『折り紙』『指編み』など、どの遊びにも子どもたちは興味津々でした。

第2部「いっしょに楽しもう」では、3年生全員によるダンス披露のあと、メンバーと一緒に“金小音頭”を踊ったり、“幸せなら手を叩こう”を歌ったりと、楽しい時間を共有することができました。

子どもたちの笑顔と元気に、参加メンバーもたくさんパワーをもらいました。これからも地域とのふれあいを大切に、活動を続けていきたいと思います。

(ボランティアふれあい活動部)



専門部の協力部員（ボランティア）を募集しています

## 生涯学習かねさわ

### 第3回講座【移動学習】in 北茨城

第3回講座【移動学習】in 北茨城として、9月18日(木)北茨城への移動学習を開催しました。32名の方にご参加頂き、日本の伝統文化と美術の魅力に触れる充実した一日となりました。最初に訪れた畳工芸美術館では、高等訓練校生徒の繊細な技術を尽くした作品を見学し、畳が単なる生活用品ではなく、文化的価値を持つ工芸品であることを改めて認識しました。続いて五浦美術館の「水木しげる特別展」を鑑賞しました。妖怪文化の奥深さと芸術性に触れ、幻想的かつユーモラ

スな作品群に参加者一同が魅了されました。最後に訪れた茨城大学五浦美術研究所では、「国土の歴史的景観に寄与する」登録文化財の六角堂・天心邸・長屋門を見学し、岡倉天心の思想と活動に触れ、日本美術の近代化にかけた情熱を感じることができました。当日は天候にも恵まれ、全行程を無事に終了することができました。参加者からは「来年もぜひ参加したい」との声が寄せられ、好評のうちに終えることができました。

(ふるさと創生塾)



### 第4回講座【歴史講座】勾玉づくり体験

第4回講座【歴史講座】勾玉づくり体験を、10月12日(日)午後に開催しました。講話で勾玉が作られた時代や形の由来についての説明を受けた後、参加者15名は、四角い高麗石を紙やすりで削り、おもいおもいの形に仕上げる工程に熱心に取り組みました。予定していた休憩時間も惜しんで制作を続ける姿が印象的で、参加者の集中ぶりがうかがえました。完成した

勾玉を互いに見せ合い、できばえを評価し合うなど、参加者同士の交流も活発で、終始和やかな雰囲気の中、講座は無事終了しました。なお、講師の小茂田先生からは、「教員としての第一歩を踏み出したのが台原中学校だったので、今回出張講座のお声がけをいただき、感慨深い思いで参りました」とのごあいさつがありました。



### 第10回「親睦ゴルフ大会」開催!

10月31日(金)、茨城ロイヤルゴルフ倶楽部にて第10回親睦ゴルフ大会が開催されました。前日まで心配された雨もあがり、秋晴れのもと、12名の参加者が、朝早いスタートにもかかわらず元気な顔を見せてくださいました。お互いを意識しながらも和気あいあいと楽しい一日を過ごしました。

結果は、龍 寛二さんが優勝を見事勝ち取りました。

(総務部)



しっかり寒さ対策をして「寒い冬」をのりきりましょう

## 利用団体紹介(1)

## 「菜の花の会」

月日の流れは早いもので、「菜の花の会」を結成して18年の年月が経ちました。

誰もが故郷を想うように、心に郷愁を誘う懐かしい童謡や抒情歌などを楽しく歌っております。

現在は25名の会員で、第4水曜日の午後1時半より金沢交流センターにて明るい歌声が流れます。

今まで続けられましたことに感謝いたします。これからも元気に活動してまいります。

『菜の花の歌声咲かせ地域の和

心の故郷温め合いで』

(菜の花の会代表 跡部 文江)



## かねさわ文芸

## 短歌

◇ 七月に津波警報あつた海

初日に祈る平和な未来

※夏の最中に津波警報がありびっくり。その後注意報だけで済みほつとしました。

◇ 逝きて二年友と揃いのマフラーを

胸元にして思い出たぐる

※第二十六回全国大会入選作品。題詠「思」の漢字を必ず入れることが条件でした。

金沢団地支部 湯佐けい子

◇ 足早やに今年も来たり冬将軍

此方も負けじ構えて健気

※つい先程まで暑い日が続いていたと思いきや急に冬支度で忙しくなりました。寒さに備えて心も身体も強くいきましょう。

◇ 輝ける陽光浴びて朗々と

大地踏みしめ生きる喜び

※朝の光はあたたかく有難いものです。今日も元気でやろうと生きる喜びが湧いてまいります。

根道ヶ丘団地支部 跡部文江

◇ 秋の夜を一人静かにコーヒーと

月光を聞くこころに滲みる

※秋の夜一杯のコーヒーを飲みながらベートーベンの月光の曲を聞いた時、懐かしい思い出が走馬灯のように心を過ぎるひと時を詠んだ。

◇ 秋風が紅葉を連れて山を越え

野を越え里に華を咲かせる

※秋の冷たい風が木の葉色とりどりに変え里で見事な紅葉となる様を詠んだ。

根道ヶ丘団地支部 沢村道男

## 編集後記

令和8年(2026年)は1月には正月の恒例行事として、第102回箱根駅伝が開催されます。

2月にはイタリア・ミラノとコルティナで冬季オリンピックが開幕し、日本選手の活躍が期待されます。3月にはNTTドコモの3Gサービス終了など通信の節目を迎えます。春から夏にかけては三重県桑名市「なばなの里イルミネーション」が開催され、桜やチューリップと光の競演が楽しめます。6月にはアメリカ・カナダ・メキシコでFIFAワールドカップが開かれ、史上最多48か国が参加予定です。秋には愛知・名古屋で第20回アジア競技大会が行われ、国内外から注目が集まります。12月には昭和天皇即位100年の節目を迎えます。スポーツ・文化・歴史的にも大きな一年となりそうです。

(広報部)